

# EXPO MILANO 2015



## 1. 開催概要

ミラノ国際博覧会は、2015年5月1日から10月31日までイタリアのミラノに開催された国際的なイベントである。「地球に食料を、生命にエネルギーを(Feeding The Planet, Energy For Life)」をテーマとして、世界中の専門家、起業家、研究者等が集まり、世界の食料事情や気候変動で変わる自然環境を知り、食料廃棄問題や持続食料調達等、未来の地球のための各国の活動が紹介された。

<b>名 称</b>	ミラノ国際博覧会 (EXPO MILANO 2015)	<b>参 加</b>	140ヶ国以上
<b>開 催 日 程</b>	2015年5月1日～10月31日 (184日間)	<b>入場者数</b>	約2,150万人
<b>会 場</b>	イタリア共和国ミラノ市郊外	 <p>ミラノ万博のシンボル「生命の樹」</p>	
<b>形 態</b>	総合的な大規模国際博覧会		
<b>ウェブサイト</b>	<a href="http://www.expo2015.org/">http://www.expo2015.org/</a>		

## 2. 特色 : ISO 20121の認証を授与された初めての国際博覧会

**国際規格の導入 (特にイベント・サステナビリティマネジメントシステム)**  
 ISO 20121 : 全体管理関連、ISO 14064 : 温室効果ガスインベントリ※関連  
※温室効果ガスの排出量および吸収量の実績を排出減・吸収源ごとに示した目録

**カーボンニュートラル**  
 温室効果ガス (特に二酸化炭素) の排出量を100%相殺した

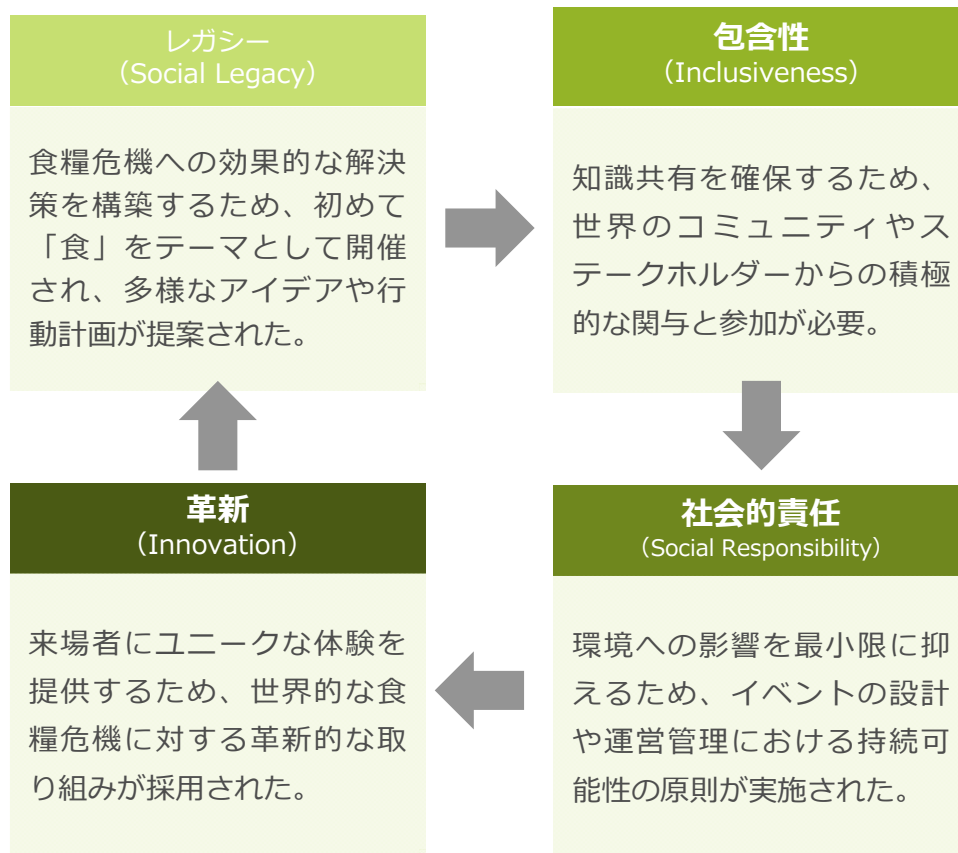
**サステナビリティ・レポートの作成**  
 定期的に作成・公表された (第1版-2013、第2版-2014、第3版-2015)

**グリーン調達ガイドラインの作成**  
 パートナーと出展者に提供し、実行優秀賞を授与した

**グリーン調達の実施**  
 2009年から2014年にかけて、総経済価値の50%は、グリーン基準に基づき実施された

### 3. 価値観と行動憲章 (Charter of Values and Commitments)

「価値観と行動憲章」でEXPO MILANO 2015に対して重要な価値観（レガシー、包含性、革新、社会的責任）が明確に定義された。これを全体統治原則として目標と行動計画が形成され、実施された。



### 4. EXPO MILANO 2015における目標

「価値観と行動憲章」に基づき、三つの主な目標が策定された。

- 目標①** 組織全体とイベントの運営管理において、環境と社会パフォーマンスをモニタリングして改善させ、高い目標を達成する。
- 目標②** 次回の国際博覧会や大規模なイベント等に参考されるベスト・プラクティス (Best Practice) になる。
- 目標③** サステナブルな社会を実現する知識や取り組み等を共有するため、国際博覧会を通じて多様な機会を活用する。

EXPO MILANO 2015が環境、社会、経済に与える影響を考慮して、三つの目標を一連の行動計画に変換された。環境について、「環境との関係」と「イベントの持続可能性を評価する枠組み」を中心に行動計画を設定、イベントの開始前、開催中、終了後にも継続的に実施されていた。

## 5. 環境面の持続可能性に関する行動計画

### 行動計画

#### ① マクロ環境に関する目標の特定と定義

(外部環境とする政治、経済、社会、技術に関する各項目や方針等が明確化された)

- エネルギー需要を最小限に抑える。
- 再生可能エネルギーを利用する。
- 環境へ負荷の少ない製品とサービスを調達する。
- 水の使用を制限して、リサイクルシステムを導入する。
- 実施された活動から環境への影響を予測して評価する。
- 最大限のリサイクルできる廃棄物処理システムを構築する…等



### 行動計画

#### ② 環境と持続可能性に関する国際規格の導入

(環境にやさしい社会・イベントの実現のため)

##### 1) ISO 20121規格 (イベント・サステナビリティマネジメントシステム)

サステナブルなイベントになるため、イベント運営における環境、経済、社会的影響について、イベント産業の持続可能性をサポートするためのマネジメントシステムが導入された。

##### 2) LEED (サステナブルなビル建設に向けた米国認証プログラム)

- 非営利団体USGBC (U.S. Green Building Council) により、開発されたLEEDシステムは、質の高い建築物を作るための戦略や、このような建築物のデザイン、建設、管理方法を評価するグリーンビルディングの認証プログラムである。現在、140ヶ国で採用されている。
- エネルギーの効率化の実現のため、会場施設と周辺地域 (CASCINA TRIULZA) にもこのシステムが導入された。周辺地域での一般建物より76%のエネルギー需要を削減し、57%のエネルギー需要は再生可能エネルギーから補われ、49%水需要を削減した。

##### 3) ISO 14064規格 (温室効果ガスの排出量について)

プロジェクトにおける温室効果ガスの排出量、削減量の算定、報告、検証に関する要求事項は3部から構成された：組織、プロジェクト、妥当性を確認。この国際規格に基づき、EXPO MILANO 2015全体が発生する温室効果ガスの排出量等が算定された。

##### 4) サステナビリティ・レポート・ガイドライン (Sustainability Reporting Guideline)

- レポートの品質を保証するため、このガイドラインは、バランス (Balance)、比較性 (Comparability)、正確さ (Accuracy)、適時性 (Timeliness) 及び信頼性 (Reliability) などの原則に基づき、サステナビリティに関する具体的な指標が作成された。
- ガイドラインでレポートングプロセスにおいて、最も重要な「プロセスの透明性」を強調して、EXPO MILANO 2015組織委員会もこれに従って定期的にサステナビリティレポートを作成して公表した。

## 5. 環境面の持続可能性に関する行動計画

### 行動計画

③

### 定期的にパフォーマンスの監視および測定

(会場周囲への影響を考慮して最小限に抑えるため)

#### 1. 環境モニタリングプランの作成 (Environmental Monitoring Plan)

全イベントのライフサイクルの発展において、生物多様性の確保および自然環境の体系的保全のため、環境モニタリングプランが作成され、重要な環境要素（空気、生態系、動植物、廃水、工事に伴う振動等を含め）に係るモニタリングが4つの段階に分かれて実施された。

- ① イベント開始前 – 事前準備 (2011年~2012年)
- ② イベント開始前 – 会場施設整備 (2013年1月~2015年4月)
- ③ イベント開催中 (2015年5月~2015年10月)
- ④ イベント終了後 (2015年11月~2016年10月)



#### 2. 温室効果ガスインベントリとオフセット (Greenhouse Gases Inventory & Offset)

- イベント活動に伴い発生する温室効果ガスの排出量を測定するため、ISO14064に従い、初期段階に全体管理組織と各関連単位（者）の境界が明確に定義され、排出量の予測分析、妥当性確認・検証が行われた。
- 地域の排出量削減を支援するため、ミラノ県や市議会等の政府機関と連携して、建物の暖房システムの適格確認、エネルギー効率の改善、太陽光発電システムの導入等のプロジェクトが実行された。また、イベントにより発生する排出量を相殺するため、EXPO 2015は、国際市場で「クレジット」を購入して「カーボン・オフセット」戦略を実施した。

#### 3. サステナビリティ・レポートの作成 (Sustainability Report)

GRI (Global Reporting Initiative) により作成された「サステナビリティ・レポートイング・ガイドライン」に基づき、定期的にレポートを作成、公表された（第1版- 2013年、第2版- 2014年、第3版- 2015年）。

#### 4. 現地環境・労働安全衛生監査 (Site Audits)

環境保全目標の達成と労働者リスクの削減のため、三つの国際規格に基づき環境・労働安全衛生監査に関するプログラムが策定され、2013年から2015年までに実施された。

- ① ISO19011 – 「品質及び/又は環境マネジメントシステム監査のための指針」
- ② ISO14001 – 「環境マネジメントに関する国際規格」
- ③ OHSAS 18001 – 「労働安全衛生マネジメント」



## 5. 環境面の持続可能性に関する行動計画

### 行動計画

④

### 参加者向けの指導と支援活動の提供

(参加者に持続可能性の原則への理解を向上させるため)

#### 1. 特別規制 (Special Regulations)

イベントに参加するため、参加者が順守すべき行動規範が公開された。

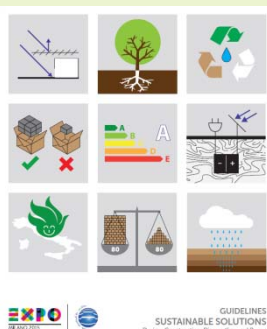
- 例) ・ 汚染防止対策と環境の保全のための措置を採用
- ・ エネルギーと水の消費量の最適化と削減
  - ・ 包装、輸送、物流に関連する戦略的な環境管理を採用
  - ・ 環境にやさしい製品とサービスを使用するのを奨励

#### 2. 一般的なガイドライン (General Guidelines)

イベントの運営管理をサポートするため、テーマガイド (Theme Guide)、技術サービスに関するガイドライン (Guidelines on Technological Services)、パビリオンの施工と解体に関するガイドライン (Guidelines for the Construction and Dismantling of Self-Built Pavilions) 等を参加者に提供した。

#### 3. 「持続可能なソリューションに関するガイドライン」と「グリーン調達ガイドライン」

参加者に持続可能性基準を自主的に採用させるため、2つガイドラインが提供された。



#### 持続可能なソリューションに関するガイドライン (Guidelines on Sustainable Solutions)

パビリオンのデザイン、施工、解体、再利用等について…

- ・ 最適なソリューションとプラクティスの知識を共有する
- ・ 参考としてデザイナーに提供する
- ・ 展示エリアでのエネルギー、水、材料の消費量を削減する

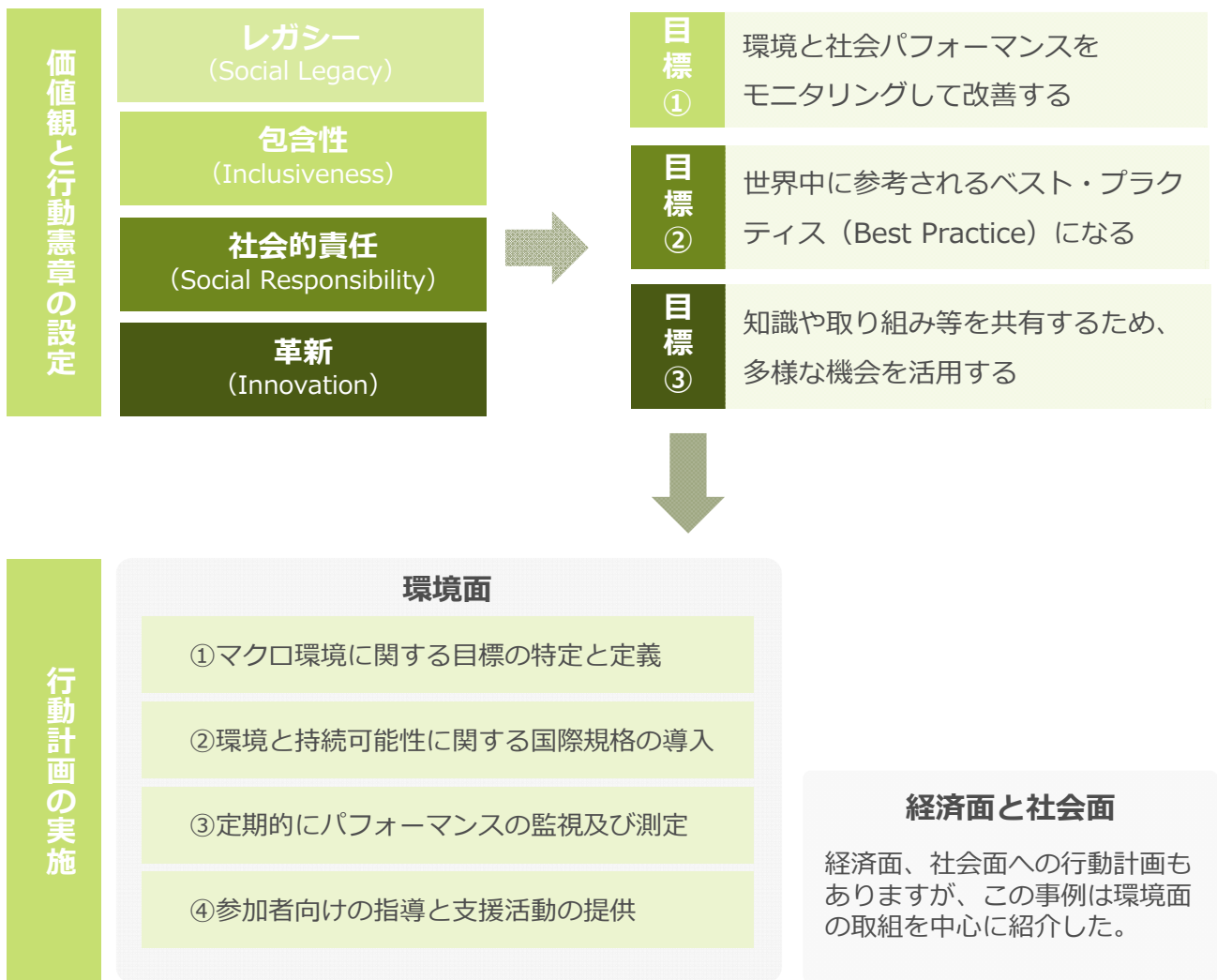
…というガイドライン



#### グリーン調達ガイドライン (Guidelines on Green Procurement)

サステナブルな消費と生産を促進するため、環境フットプリントに関連する製品及びサービスを五つ種類に分けて紹介された。

1. 食品・飲料、ケータリングサービス (F&B, Catering Services)
2. マーチャンダイジング (Merchandising)
3. 家具 (Furniture)
4. 包装 (Packing)
5. イベント組織 (Event Organization)



※EXPO MILANO 2015 価値観の設定から行動計画の実施までの流れ

#### 参考資料：

1. SUSTAINABILITY REPORT 2013 EXPO 2015 S.P.A.
2. SUSTAINABILITY REPORT 2014 EXPO 2015 S.P.A.
3. GUIDELINES SUSTAINABLE SOLUTIONS- Design, Construction, Dismantling and Reuse
4. GUIDELINES ON GREEN PROCUREMENT
5. EXPO MILANO 2015 WEBSITE: <http://www.expo2015.org/archive/en/index.html>

#### 本件に関するお問い合わせ先

**Positive Impact日本事務局**（株式会社セレスポ サステナブルイベント研究所内）

170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5

Tel: 03-5974-1111 E-mail: [ise@cerespo.co.jp](mailto:ise@cerespo.co.jp)

URL : <http://www.positiveimpactevents.com/positive-impact-japan>